

クラス番号	631	担当教員名	小松 理佐子
テーマ	持続可能な地域づくりの方法を考える		
著書・論文 研究課題等	『対論 社会福祉学（第2巻）社会福祉政策』（共）中央法規出版、2012年 「過疎地域における地域包括ケアシステムの構築の可能性」（単）（『日本福祉大学社会福祉論集 第134号』2016年 「生活支援サービスとソーシャル・キャピタル」（単）（『ソーシャルワーク研究』43-2）2017年 『よくわかる社会福祉の「経営』』（編著）ミネルヴァ書房、2018年 『「地域共生社会」の理念と展望』（単）『「地域問題』96号、1-6』2019年		

ゼミナール概要

キーワード：人口減少、持続可能な地域、過疎化、地域再生、まちづくり

目的、内容、方法等：

日本各地で、人口減少が進行しはじめています。過疎化が進行した地域では、公共交通機の廃止などにより日常生活を維持することが困難になる人々が生まれています。とりわけ「限界集落」と呼ばれる地域などでは、集落の機能の維持が困難になり、住み慣れた自宅で暮らし続けたいと思ってもそれができなくなりつつある地域が見られるようになっていきます。また、都市部でも、かつての商店街が「シャッター通り」となり、「まち中過疎」と呼ばれるような状況が生まれています。若い世代が郊外に移り済み、中心市街地が高齢化するといった実態もみられます。

さらにコロナ禍を受けて、都市部のオフィスの地方への移転やリモートワークの増加が進むなかで、地域の状況はより変化し、多様化することが予想されます。今後は、都市部・中山間地などの地域類型にかかわらず、あらゆる地域が、住み続けることのできる地域（持続可能な地域）づくりに取り組むことになるでしょう。

ゼミでは、人口減少が進行する地域で進められている地域再生の取り組みを学びながら、このテーマについて考えてみたいと思います。ゼミの研究のフィールドとして、愛知県豊田市、岐阜県高山市を予定していますが、ゼミでの研究を通じて魅力的な取り組みをしている地域を発見し、フィールドワークに取り組みたいと思います。

授業計画：

* 3年次

前期 人口減少の実態と課題について、文献・資料をもとに学習します。

インターネット、ゲスト講義などにより、地域再生の事例研究をします。

後期 夏休みから後期にかけて、愛知県豊田市、岐阜県高山市をフィールドにして研究を進めます。

* 4年次

前期 卒業論文のための研究を進め、卒業論文の執筆に取り組みます。

後期 卒業論文の完成させた後、国家試験対策の学習をします。

担当教員からのメッセージ

ゼミのモットーは、「良く遊び、良く学ぶ」。

人口減少が進む地域を支える、夢と行動力にあふれた人材を育てたいと思っています。卒業後、出身地に帰って地域を支えたいという熱意のある人を歓迎します。